

新入会員の紹介

ティーエス・サデ(株)

グルンドピット・コンパクト エクストラクター工法 スエッジライニング工法

問い合わせ先：ティーエス・サデ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目19番1号 芝浦アークビル3階

Tel. 03-5441-7030 Fax. 03-5441-7011

URL: <http://www.ts-sade.com> E-mail: info@ts-sade.com

当社は平成14年、フランス・パリに本社のあるSADEの日本法人として設立し、SADEの保有する多くの技術の中から、特に日本マーケットに有効と考えられる非開削技術として、①グルンドピット・コンパクト、②エクストラクター工法、③スエッジライニング工法を地下管路を所有する企業体に提案しています。

(1) グルンドピット・コンパクト

必要な立坑寸法は「500×800mm」、機械の必要とする作業スペースは「2.5m²」と非常に小さく、リグブームを立坑内に設置することにより、推進作業をより一層正確に行うことを可能にした、自走式HDDです。このコンパクトな機体には、ドリル機能の他に水・ベントナイトタンク、前記のミキシング機能があり、施工個所での組み立てが不要なため、短時間のうちに作業準備を完了することができます。

引き込み管は最大200mmの口径まで適用可能で、延長は最大50mまでの施工が可能です。

(2) エクストラクター工法

鉛給水管の非開削更新工法で、特殊形状の金属製コーンで鉛給水管内壁を拘束した上で引き抜きを行うと同時に、給水管の抜け出した穴に新管(PE管)を引き込む工法です。

機械寸法は「700(縦)×700(横)×700(高)mm」と非常にコンパクトなため、必要な開削寸法は「1m×1m」程度で済み、舗装復旧費を大幅に低減できます。

またコスト以外にも、交通量の多い個所での施工の際に通行止めにするのが無いことや、給水管を引き抜いた抵抗のない穴に新(PE)管を引き込むため、正確な布設替えを行うことができるといった特長を併せ持っています。

適用対象管の口径は「13・20・25・30mm」で、施工延長は「最大12m」です。

(3) スエッジライニング工法

大口径老朽管の更新工法で、引き込み抵抗を低減するため円錐リングを通過させ、一時的に外径を小さくして管内に引き込んだ後引っ張り力を解放し、PE管の復元力で既設管にフィッティングさせる工法です。対象管は铸铁管の他、ヒューム管・石綿管・鋼管等で、対象管口径は125～800mm、施工延長は1工区最大500mまでの施工が可能です。

引き込み管には開削工法と同等かそれ以上の厚みのPE管を用いるため、施工完了後は自立管として機能します。

